



「エストレヤ下田」 コーチの皆さん

**声を出して連携も
しっかりと**
体育館を使った後は、
みんなで掃除。

**ドリブルの練習も
欠かしません。**

練習の合間に
仲良くお喋り。

菅田仁さん
監督として主に高学年担当。教員として三条市内に勤務しており、新潟県リーグのクラブにも所属中。

永井篤志さん
技術指導の総合コーチ。Jリーグ(モンテディオ山形)の中心選手として活躍。

花澤知弘さん
自身の技術を伝えたいと2002年(しただファンタジスタ)を発足。現在は木曜日のコーチを担当。

大野聖太さん
宮城県にて、中学生の県選抜や国体少年のヘッドコーチとして活躍。

早川太郎さん
新潟薬科大学在学中で(しただファンタジスタ)OB。会津さんに「スカウト」され同チームのコーチに。

- 三条市地域おこし協力隊とは……
都市圏から過疎地などへの移住、定着を促すため総務省が平成21年度に創設した制度。三条市では人口減少が進む下田地域において地域外の人材を活用し、定住・定着を促進しています。
- NPO法人ソーシャルファームさんじょうとは……
2015年4月に設立したNPO法人。「農業」「サッカー」「スポーツ総合」「地域交流」などに関連したイベント、企画を通じた活性化を目的に活動。下田地域で活動する「地域おこし協力隊員」は、最長3年間同NPO法人と連携し、地域活性化に取り組んでいます。

新しい仲間★募集中!!
【小学1年生～6年生】
「スポーツを楽しむ」ことを第一に活動しています。初めてサッカーをする子ども大歓迎! 無料体験も随時募集しています。

練習日時
【低学年】土・日・木
【高学年】土・日・月・水

練習場所
旧荒沢小学校・下田体育館・森町小学校

問合せ
estrella.shitada@icloud.com
☎090-2305-6829(会津)

**環境の充実が
子どもの刺激に**

現在エストレヤ下田には幼稚園児から中学生まで、39名が所属。低学年以下と高学年の2チームに分かれて活動しており、低学年は土・日・木の週3日、高学年は土・日・月・水の週4日練習を行っています。低学年は鬼ごっこやゲームの他、シュート練習やチーム対戦など楽しみながら身体を動かし「サッカーを好きになるためのぎゅっかけ作り」を大切にしているそう。

「小さい子どもたちにとっては、サッカーは競技というより遊びの延長なので、まず好きになってもらう」ということを第一に考えて活動しています」と会津さん。

一方、高学年の練習は、ドリブルやリフティングなど個々のスキルアップやチームワークを活かした連携、戦術などが主な内容。ボールに触れる時間を長くとり、競技として取り

**才能を開花させるために
子どもたちのサポートを**

再始動してからようやく1年が過ぎた、運営は分業制でしており、コーチは「三条市地域おこし協力隊」の永井篤志さん、大野聖太さん2名と、菅田仁さん、花澤知弘さん、早川太郎さんの計5名が担当しています。

「高学年になって試合が増えると競技への意識が自然と芽生えるので、小さいうちはうるさく言わず、自由さを大切にしています」。こう話すのはコーチの一人であり元リーガーの永井さん。中学生は下田中学校のサッカー部として対外試合を行うことはありませんが、週一度スキルアップとして永井さんの指導を受けています。子どもたちにとっては、長くプロ選手として活躍してきたコーチに直接指導を受けられることが大きな刺激になっているそうです。

「子どもは才能と可能性の塊ですがサッカーに限らず才能を開花させるきっかけがなければ埋もれてしまいます」と話します。

「子どもの成長をサポートする」と

「この旧荒沢小学校は私が3年前に「協力隊」としてやって来たときは、ひと気もありませんでした。でもこうして子どもたちが大勢来てくれるようになってうれしいですね」と笑います。

都会の子どもと地方の子どものもとも大きな環境の違いは「きつかけの数」と会津さん。

「子どもは才能と可能性の塊ですがサッカーに限らず才能を開花させるきっかけがなければ埋もれてしまいます」と話します。

「ただ、大切なことはチーム強化ではなく「クラブが地域の中でどのような存在であり続けられるか」ということ。地域をスポーツで活性化する、その象徴が、このクラブという位置付けです」と会津さんは語ります。

会津さんが名づけた「エストレヤ」とは、スペイン語で「星」という意味。エンブレムの5つの星は下田にある小学校の数、真ん中の赤い星は、日の丸とホームグラウンドの旧荒沢小学校を表現しています。ホーム用のユニフォームの赤は「情熱」、黄色とネイビーのラインは「五十嵐川」と、下田の空の流れ星をイメージしています。子どもたちの笑顔やがんばる姿は、地域に希望や活力を与えます。夜空の星のようにいつまでも輝き続ける、そんな子どもたちの姿をあなたも見てみたいと思いませんか?



星のように輝け! 下田唯一のサッカークラブ エストレヤ下田

部員減少で消滅しそうだったサッカーチームを引き継ぎ、コーチ陣や環境を整え名称も新たに2017年よりクラブ運営を始めた会津泰成さん。地域におけるクラブのあり方や、子どもの成長を促す「スポーツの力」についてお話を聞きました。

代表 会津泰成さん
2015年に神奈川県川崎市から下田に移住し現在は二拠点生活。元テレビ局アナウンサーで、現在はスポーツを軸とした事業他作家としても活躍中。第10回ナンバーズスポーツノンフィクション新人賞(文藝春秋)受賞。

農業やスポーツを通じた地域振興、アスリートのセカンドキャリア支援などを活動の柱とするNPO法人ソーシャルファームさんじょうと連携し、三条市で活躍の場を広げている「三条市地域おこし協力隊」メンバーの一人である会津さんが代表を務める「エストレヤ下田」は下田唯一のサッカークラブです。

実はこのチーム、昨年まではしただファンタジスタというチーム名で



園児～小学3年生の 低学年チーム!

**消滅危機のチームを
名称も新たに再始動**

「地帯でも子どもたちがスポーツや芸術の魅力に触れ、上達するための環境をつくりたい」というNPO法人ソーシャルファームさんじょうの柴山昌彦理事長の熱い思いに共感し、さまざまな場所でサッカー教室や指導者講習会を実施してきた会津さん。そんな中、県央地域のサッカー協会から「チームを引き継いでもらえないか」と依頼され、ここ下田で名称も新たにクラブを運営することを決意しました。

主な練習場所は、2014年に廃校となった旧荒沢小学校や下田体育館、ひと気のない旧荒沢小学校のグラウンドに天然芝を張り、コーチ陣にはJリーグで活躍した元選手を招きました。子どもたちがサッカーを純粋に楽しめる環境を整えたことが功を奏して、わずか2カ月で部員の数は25名以上にまで増えたそうです。

「ただし、大切なことはチーム強化ではなく「クラブが地域の中でどのような存在であり続けられるか」ということ。地域をスポーツで活性化する、その象徴が、このクラブという位置付けです」と会津さんは語ります。

「ただ、大切なことはチーム強化ではなく「クラブが地域の中でどのような存在であり続けられるか」ということ。地域をスポーツで活性化する、その象徴が、このクラブという位置付けです」と会津さんは語ります。

「ただ、大切なことはチーム強化ではなく「クラブが地域の中でどのような存在であり続けられるか」ということ。地域をスポーツで活性化する、その象徴が、このクラブという位置付けです」と会津さんは語ります。

「ただ、大切なことはチーム強化ではなく「クラブが地域の中でどのような存在であり続けられるか」ということ。地域をスポーツで活性化する、その象徴が、このクラブという位置付けです」と会津さんは語ります。